

## 内閣府特命担当大臣（科学技術政策）談話

理化学研究所の森田博士を代表とする研究グループに命名権が付与された113番元素について、提案のとおり、元素名「nihonium（ニホニウム）」、元素記号「Nh」となることが国際純正・応用化学連合より、発表されました。

新元素の命名は、欧米以外の国では初の快挙です。

今回の「ニホニウム」命名が、これからの科学技術を担う若い世代が、胸を張って人類未到の課題に積極果敢に挑戦する意欲をもつ契機となるものと期待しています。

「ニホニウム」が周期表に掲載されることは、熾烈さを増しつつある国際競争の中で、科学技術イノベーションの基盤となる世界最高水準の成果を、我が国が生み出す実力を証明したものと見え、大変意義深いものと考えます。

政府としても、今年度より開始した第5期科学技術基本計画のもと、優れた人材の育成・確保や基礎研究の推進、世界最先端の研究施設・設備の整備などに全力で取り組んでいきます。

とりわけ、森田博士が「ニホニウム」を創り出すため長年にわたり研究にいそしんできた理化学研究所は、特定国立研究開発法人に指定されたばかりです。今後とも世界最高水準の成果を生み出し続けることを期待しています。

平成28年11月30日  
内閣府特命担当大臣（科学技術政策）  
鶴 保 庸 介